

関連項目：教育活動プラン①

## 音楽を通して児童の活躍の場をつくる

### 目的

本校の児童は、明るく活発で好奇心も旺盛である反面、生活面や学習面で課題のある児童も見られます。そこで、主体的な生活づくりのために児童が活躍できる場の設定を重視しました。音楽主任を生徒指導の中心に据え、音楽発表を通して児童の心の安定と成長を図ろうと取り組みました。

### 内容

#### ● 全校音楽集会での学年発表

本校では、音楽主任が全学年全学級の音楽の時間を担当し、6年間を見据えた系統的な指導を目指しています。学級担任と連携した学級での音楽活動や全校をつなぐ音楽行事を企画しています。

その一つとして、年間各学年1回の音楽集会での発表の場を設定し、児童の活躍の場としています。発表会に向けての学年団練習を通して、「音」を合わせ、学年全体で1つの音楽に作り上げていく心地よさや醍醐味を一人ひとりの児童が味わい、意欲的に取り組む姿が見られました。鑑賞している他学年児童にも、その姿があこがれとなりよい影響を与えています。

10月の自由参観日が学年発表の日となった3年生では、多くの保護者が来校し参観しました。発表児童の緊張感が高まり、その達成感も大きいものとなりました。参観者からも感動の声が聞かれました。



3年生の「カルメン」発表

#### ● 校外における音楽発表

本年度は、県文化祭音楽会の発表校となり、6年生が学校の代表として出場することになりました。4月、最高学年としてのまとまりが得られず出陣した6年生は、11月の県文化祭音楽会発表に向けての練習を開始。教師集団と児童が同じ目標をもって取り組むためのテーマを「向き合おうそして変わっていこう『明日の自分』へと」に決定。

9月、運動会での5・6年生全員による組み立て体操「7段ピラミッド」の成功で一体感の心地よさを体験したことを通して、また、児童会を中心とするリーダー会を通して、自分たちの取り組みを見直していきました。

11月、合唱曲「ジュピター」で、県の文化祭音楽会に出場。しかし、ここでは1人ひとりが真剣に音と向き合うことで響き合う一体感を味わうには、まだまだ大きな課題が残りました。12月、リーダーによる『夢に向かってチャレンジ!』サミット2011』での取り組み発表をその振り返りの場とし、今再び、卒業という目標に向けて集団づくりに挑戦しています。

#### ● 年間を通した特別練習（合唱クラブ）

本校では、4年生以上の児童が参加する放課後の特別クラブとして、合唱・金管・陸上の3つのクラブ活動があります。その1つ合唱クラブを音楽主任が担当しています。夏のNHK全国合唱コンクールへの出場は、連続40回を超える出場の歴史があります。毎週月・火・木曜日の放課後練習を行います。大会前には、全校生の前でその成果を披露する場も設定しました。継続された指導の中で、歌うことに対する姿勢づくりと歌うことへの自信が育成されています。また、洗練された素晴らしい歌声は、他の児童のモデルとなり、学級・学年での歌声を支えています。



6年生の文化祭での発表

### 成果

こうした1年間の取組で、毎日朝の会の時間には、校内に歌声や器楽練習の音が響いてくるようになりました。全校音楽集会での歌声も、響き合いを増してきています。音楽を通した心の安定が図られ、主体的に生活をつくらうとする姿勢が見え始めています。こうした効果をさらに高めるために、練習の成果を多くの人に見ていただく場の設定や、鑑賞等本物体験の場をこれからも設定していきます。